



令和5年度 第60号
令和6年3月15日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

お別れ遠足の様子です。校長先生は中学校の卒業式からかけつけました。



3月8日(金)は晴天。とてもよい天気でした。この日は6年生とのお別れ会、そしてお別れ遠足の日でした。在校生の子どもたちは、この日のために出し物等がんばってきたのでした。特にあと1カ月もしないうちに、本荘小学校の新しいリーダーとなる5年生の子どもたちにとって、この日はデビュー戦のようなものです。

しかし、この日は江原中学校の卒業式の日だったので。ようやくコロナも明けて、来賓の皆様をお呼びしての卒業式ができるようになりました。小学校に先駆けて、中学校では卒業証書授与式が挙行されたのです。校長先生は来賓としてお招きされていたので、お祝いに行かなければならなかったのです。毎年、6年生とのお別れ会は感動の連続です。涙なしに語れないのが毎年の本荘小なのです。

でも、卒業式に行く前に、子どもたちにあいさつをしていきました。「みんなのことを信頼しているから、きっとすばらしいお別れ会になるはず。頼んだよ。」と告げて学校を後にしました。学校に帰ってから、今年度もすばらしかったということを知りました。さすが本荘小の子どもたちだと感心しきりの校長先生でした。一方の中学校の卒業式もすばらしかったです。15歳の子どもたちが、自分たちの想いや能力を発揮するのですから、感動ものでした。彼らを支えた中学校の先生方にも感謝をしたのでした。最後の歌、GReeeeNの「遙か」は涙、涙でした。(裏面へ)

その中学校を後にして、熊本城二の丸公園に向かいました。この日は、天気がとてもよかったのですが、なにしろ寒い日でした。冬の寒さとはまた違う寒さ、春寒とか花冷えとか言いますが、風も強く寒さへの心配がありました。

でも着いてみたら、みんな元気なこと元気なこと。冷たい風にも負けずに、鬼ごっこをしたり、走り回ったり(笑)。子どもらしい姿を見せていた本荘小学校のみんなでした。誰一人、寒いからと言って遊びから離れたりするものもなく、上級生は下級生をいたわり、下級生は上級生にいうことをよく聞いて行動していました。

こんなところに、子どもの本当の姿が出るものです。遠足先での様子を動画にして、保護者の方々にお見せするような機会があればと本当に思いました。お弁当の時の様子をメインにスナップを載せておきますので、お楽しみください。みんなが笑顔だったお別れ遠足となりました。(校長)

校長先生の虫眼鏡 「お別れ遠足のスナップ」

子どもたちは、お弁当とおやつに舌鼓を打っておりまして。おいしそうに食べる表情のよいことよいこと(笑)



みんなみんな楽しい一日でした。